



教育目標

明るく思いやりのある子（きよく）
進んで学ぶ子（かしこく）
健康でねばり強い子（たくましく）

4月27日 「交通安全教室」実施

4月27日(金)の3校時に石川警察署 交通課の伊藝智樹さんと宜野座駐在の新本誠司さんと石川地区交通安全協会 古波蔵チエミ事務局長を講師としてお招きし、幼稚園児・全児童を対象とした「交通安全教室」を実施しました。

幼稚園児に伊藝さんは、4つのお願いとして「1 信号のある場所を渡る。2 左右見て、確認して渡る。3 道路に飛び出さない。4 道路では遊ばない。」をお話してくださり、そのあと模擬信号機をつかって、信号のある場所での渡り方を教えてくれました。さらに、ギターを弾きながら、命を守るために、シートベルトをきちんとしようとして歌ってくれました。

その後、腹話術による講話で子どもたちの興味を引きながら、不審者対策（いかのおすし）と横断歩道の渡り方についてをわかりやすくお話してくださいました。

お話の後は、実際に国道の信号機のある横断歩道で「右手を挙げて、『右見て！左見て！もう一度右見て！』と確認して渡る」と安全な渡り方を教えていただきました。実際の安全な渡り方を通して、交通ルールを守ることの大切さを実感できたようです。

小学生は、自転車の正しい乗り方について、講話と実技を通して学びました。そして、実際に自転車の点検の仕方を具体的に「ブタはしゃベル」の手順で教えていただきました。さらに、交差点での一時停止や左右確認、後方の確認など、安全な自転車の乗り方を実演していただきました。

自転車は免許のいない乗り物ですが、自分の身を守る為にもヘルメットを着用することや、二人乗りや片手運転、音楽を聴きながらの運転、並走など事故につながる乗り方をしない事が大切だとお話していました。

多くの児童が自転車を所有しています。一人一人が交通ルールとマナーを守り、正しく安全に自転車に乗ることが出来るようにしていきたいと思います。保護者の皆様もご協力、よろしくお願いします。



写真1 模擬信号を使って



写真2 信号の渡り方

自転車の点検

☆自転車の点検は、「ぶたはしゃベル」の順序で行います。

ブ ブレーキはききますか？
タ タイヤの状況、空気圧は？
は ハンドルの状況は？
しゃ 車体（ペダル・反射材・ライト等）
ベル ベルは、鳴りますか？



写真3 交通安全指導の様子①



写真4 自転車の点検の仕方



写真5 交通安全指導の様子②

警察から「自転車事故から子どもの命を守るための保護者への3つのお願い」

1 自転車を点検し、ヘルメットを着用させてあげてください

自転車を「ブタはしゃベル」の手順で子どもと一緒に、しっかりと点検し、安全な状態で乗車させてあげてください。パンクしていたり、ブレーキが壊れているのに、乗車している子がいます。とても危険です。それに、ヘルメットを着用させてあげてください。転んだりして、頭をけがするケースが増えています。

2 保険をかけて乗車させてあげてください

自転車は、だれでも乗れる乗り物です。でも、公道を走る乗り物です。自動車に保険をかけるように、自転車にも保険をかけることが子ども達の命を守るためにも必要です。それだけでなく、近年、自転車事故により高額な賠償請求を求められる例があります。自転車を購入する際、盗難保険と一緒にかけることをおすすめします。

3 ノーブレーキピストバイクは公道を走れません

近年、ノーブレーキピストバイクが販売されています。このノーブレーキピストバイクでは、公道を走ることができません。ぜひ、注意なされてください。